



愛と健康の

かけはし

No.41



編集・発行 情報委員会

神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25

電話：(078) 612-5151

URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

診療科目

- 内科
- 消化器内科
- 肝臓内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 神経内科
- 外科
- 整形外科
- 消化器外科
- 放射線科
- リハビリテーション科
- 肛門外科

専門外来

- 腎臓内科・泌尿器科
- 糖尿病内科
- 皮膚科
- 在宅医療
- 人間ドック
- 健康診断
- 医療相談

診療時間

【午前診・月～土】
 受付 8:10～12:00
 診察 9:00～

【午後診・火 内科のみ】
 受付 14:00～16:30
 診察 15:00～

【夜間診・月、水、木、金】
 受付 17:00～18:30
 診察 17:30～

※ただし急病患者については時間制限なく診療いたします。

- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会認定教育関連病院
- 臨床研修病院指定
- 日本医療薬学会研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

2011年を振り返って

院長 金守良



●2011年に起こったこと、問題となった出来事について、来年(2012年)以降に持ち越される諸問題にも触れながら述べてみたいと思います。

●2011年に起こった出来事の最大のもは、死者、行方不明者が3万人近くに至り、戦後最大の災害となった東日本大震災であることはいままでもありません。震災は地域社会・経済に大きな打撃を与えました。地域医療についていえば、震災前より公立病院の廃止問題、医師・看護師不足が顕著であった東北地方において、震災は壊滅的打撃を与えました。国公立病院及び民間医療機関の回復は遅々として進んでいないのが現状です。

●又、福島原発事故に伴う放射能の健康被害問題は、日を追うごとに深刻な様相を呈しています。被災地では、放射能に感受性の強い小児に対する

甲状腺癌の検診(今後30年間続けられる予定です。)がスタートしました。今後、原発事故によってもたらされるであろう健康被害に対する対策が十分に行なわれるよう見守る必要があると考えます。

●第2は社会保障と税をめぐるとする議論については社会的合意ができていません。消費税増税は、薬品・医療機器などの導入に際しての費用を消費者(患者)に転嫁できない医療機関においては、存続に関わる重大な問題です。財源として、たとえば、企業減税の中止、大企業の内部留保の捻出なども検討すべきだと考えます。2012年以降の国民的議論が重要です。

●第3はTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)をめぐる動きです。TPPは日本の農産物に対する関税撤廃という問題に留まらず、医療の分野でも大きな問題を含んでいます。米国の民間保険・株式会社による医療機関の日本への参入、欧米の巨大製薬会社による保険適応外の薬品の導入、混合診療の解禁等により日本の国民皆保険制度が崩れる可能性も秘めています。日本医師会をはじめとする医療諸団体もTPP参加反対を表明しています。

●以上、3つの出来事、問題の解決については2012年以降に持ち越されることになりました。私達は2012年も日常の医療活動に全力を尽くすことはいまでもありませんが、世界一の長寿国を実現するために大きな役割を果たしてきた憲法25条と国民皆保険制度を断固として守るための運動にも力を入れたいと考えます。

大災害に備えましょう

医療情報部
谷口 美幸

3月11日に発生した東日本大震災、津波、そして原子力発電所事故は甚大な被害をもたらしました。過去の歴史から、西日本の太平洋沖を震源地とする巨大な地震が100年から150年の間隔で繰り返し発生しているということがわかっています。

大きな災害が発生した時には、日頃からの備えが大切だということを痛感します。

年末、年始はご家族が集まれる機会も多くなります。家庭でできる「備え」について、一度話し合ってみてはいかがでしょうか。

チェックリスト

- 災害に関する基礎知識を学ぶ
- 地震が起きたらどうするか、行動手順を確認する
- 住んでいる地域の危険性や避難場所を確認する
- 家具の固定や配置を見直す
- 災害情報の入手方法を確認する
- 災害発生時の役割分担を決める
- 非常時の連絡先リストをつくる
- 非常持ち出し品や備蓄品を準備、点検する



非常時のために準備するもの

各自で準備

- ヘルメット
- 手袋
- 衣類（長そで）
- タオル
- 懐中電灯
- 現金（小銭を含む）
（リュックサックなどに入れておく）
- お薬手帳（処方内容がわかるもの）

家族で準備

- 食料品、水
（1人1日3リットル×3日分）
- 携帯ラジオ（予備電池を含む）
- カセットコンロ（予備ボンベ）
- ろうそく、マッチ
- ナイフ
- 雨具
- ティッシュ
- アドレス張、通帳のコピー、印鑑
- 救急薬品
- スコップ
- のこぎり
- 消火器
- 車のジャッキ、ボール

※神戸市危機管理室発行 神戸市地震減災ガイド（東南海・南海地震と津波に備える）から引用。
図や写真が入った震災ガイドは、神戸市役所危機管理室のホームページから印刷することができます。

検索 ⇒ <http://www.city.kobe.lg.jp/safety/prevention/preparation/guide/index.html>



神戸市看護のともしび賞

神戸市看護のともしび賞は、看護業務に業績のあった神戸市内の看護職員を表彰し、看護業務及び地域医療の向上発展を図ることを目的として平成5年度から実施されているものです。

助産師、看護師または准看護師免許保持者で、神戸市内の医療施設でこれらの業務に従事され現在勤務されている医療施設で、ある一定の期間、勤続されていることが選考基準となります。

上原さんは、開院時からの勤続職員です。ともしび賞は平成20年、21年に引き続き、3人目の受賞です。

受賞者コメント

4病棟 上原 さゆり

神戸朝日病院に勤務し、早 24 年目になろうとしています。入職した当時は、慣れない環境で覚えることも多く大変でしたが、信頼できる上司に恵まれ、私自身、やる気を出させてもらったことで、多くの事を学ぶことができました。自分の子供と同年代の後輩達から学ぶことも多々あり、良き同僚にも恵まれ、楽しい日々を過ごしています。

看護師の人数が少ないこともあり、大変ではありますが、これからは患者様には、心のこもったよりよい看護が提供できるよう、頑張っていきたいと思います。今までに辛い事もりましたが、とてもやりがいのある仕事だと思います。後輩の皆様も一緒に頑張っていきましょう。



かぼちゃのミルク入りみそ汁



栄養科 主任
土遠 美紀子



材料(4人分)

- 昆布だし …… 300ml(1.5カップ)
- コンソメ顆粒 …… 小さじ 1 杯
- 西洋かぼちゃ …… 正味200g
- たまねぎ …… 100g(1/2個分)
- オクラ …… 4 本
- 牛乳 …… 300ml(1.5カップ)
- 赤みそ …… 大さじ 1 杯

1人前

- エネルギー : 120kcal
- たんぱく質 : 4.6g
- ビタミンA : 398μg
- カルシウム : 111mg
- 塩分 : 1.1g

作り方

- ① かぼちゃは種を取り除き約2cm厚さのくし切り、たまねぎは薄切りにし、オクラはゆでて小口切りにしておきます。
- ② 鍋に昆布だし、コンソメ、かぼちゃ、たまねぎを入れて火にかけて、煮立ったら弱火にしてかぼちゃがやわらかくなるまで煮ます。
- ③ ②に牛乳を加えてから赤みそを溶き入れ沸騰する直前に火を止め、器に盛りオクラをちらします。

今年は 12 月 22 日が冬至です。この日にはかぼちゃを食べますが、真冬に夏が旬のこの野菜を食べるのはどうしてでしょうか。かぼちゃはビタミンAを豊富に含みます。ビタミンAは鼻やのどなどの粘膜を健康に保ち、風邪などの感染症予防に役立ちます。また風邪予防によいとよく知られているビタミンCも意外に西洋かぼちゃの方がみかんよりも多いのです。

[ビタミンC量 / 100g : みかん(32mg)、西洋かぼちゃ(43mg)]



あさひの仕事人 vol.1

今号から新しいシリーズ、「あさひの仕事人」をスタートしました。病院で働くさまざまな職種について、ご紹介します。



薬剤師 pharmacist

調剤、医薬品の供給、その他薬事衛生の専門職。薬剤師法(1960年)によって業務が規制されている。医師の処方箋による調剤、入院患者、在宅療養患者への服薬指導、服薬効果の評価など、医薬品の適正使用を目指す情報の管理伝達を任務としている。

通常、大学の薬学課程を卒業し、厚生労働大臣の行う薬剤師国家試験に合格することにより免許が与えられる。現在、薬学部は6年制であり、2012年の春に6年制になって初めての卒業生が誕生する。

Interview

薬剤部 主任 笹瀬 典子さんにインタビューしました。

Q：神戸朝日病院には、何名の薬剤師さんがおられますか。

A：現在7名の常勤薬剤師がいます。

Q：大学の薬学部は4年制から6年制になりましたが、特に何が強化されたのですか？

A：臨床実習が増えました。実践力を鍛えるためです。神戸朝日病院は、薬学部の臨床研修病院で、毎年多くの学生が実習に来ていて、その指導も行っています。

Q：薬剤師の1日を教えてください。

A：午前中は、主に外来患者さんの調剤です。午後は、外来患者さんの調剤も行いますが、主に病棟へ上がって入院患者さんの配薬をしたり、残薬のチェックをします。

今までとは違うお薬が処方された場合は、お薬の説明もします。血液検査のデータや他の病院で処方されていたお薬の確認、副作用についても確認し、服薬指導を行います。

入院患者さんは、自分でお薬の袋を持っている人、薬剤師が朝、昼、晩のお薬をベッドサイドに届ける人、看護師さんが食事などの度にお薬をお渡しする人というグループに分けて対応しています。ご高齢の患者さんが多く、薬剤師や看護師が対応する患者さんが増えています。

Q：薬剤師さんになって、よかったことを教えてください。

A：患者さんから感謝していただけるやりがいのある仕事です。長く通院されている患者さんは、名前を覚えてくださって、声をかけてくださるのがうれしいです。

薬剤師をしていて悪かったことはありませんが、24時間患者さんとかかわって仕事をしている看護師さんの安心感にはかなわないなあと思います。

Q：特に注意していること、大切にしていることはありますか。

A：患者さんを自分の家族だと思って接したいと思っています。お薬の説明をするときは、こちらの話した内容が、きちんと伝わるよう、わかりやすくお話するようにしています。

Q：これから薬剤師を目指す方に、何か一言。

A：これからの薬剤師はもっとみなさんの身近な存在になります。あなたの近くに「薬剤師!」です。



(医療情報部 谷口)

はこけめソ前れるらあのが院催神11
力とランにらま々ずっフ参かさ戸月
なりです。二参加神。で時もラ、安られマ20
です。れたン加す戸約完間かソ初藤した。第
“継とをるマ1走をかんめ院。が1
続の続たら年さ切わでて長当開回

編集後記

